

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	柔道整復学実技2	実技	3	90	解剖学、柔道整復学(理論編、実技編)、運動学
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
柔道整復学科 1年	太田 直樹・南沢 悟	有 無	臨床経験を生かし、ただ触るだけでなく、臨床で必要とされる骨・関節・靱帯・筋の形状や走行、位置関係をイメージしながらの触診を行えるようにする。		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
基本的な解剖学的用語を理解できるようにする。(骨・筋の名称、部位名など) 骨・靱帯・筋の働きや走行を理解し、体表から把握できるようにする。 また、体表解剖の知識習得をもとに各筋の重なり等の立体構造をもイメージできることも目標とする。					
体表解剖知識・触診術を習得後、評価法も身に着けることも目的とする。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
臨床経験を生かし、ただ触るだけでなく、臨床で必要とされる骨・関節・靱帯・筋の形状や走行、位置関係をイメージしながらの触診を行えるようにする。解剖学で学ぶ運動器(骨・筋)と体表解剖の知識も重要となるため、予習復習を欠かさないこと。					
また、授業時間外でも数多くのモデル(人体)の体表解剖を実際に見て触ってみることが重要となるため、授業後の復習を積極的に行うことが重要となる。					
教科書・参考書					
・解剖学 ・柔道整復学 理論編、実技編					
受講時留意点、その他					
【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。 【 受講科目受講時留意点 】 ● 白衣、実習靴、名札など医療人としての身なりを整え、授業に積極的に参加をしましょう。 ● 触診する場所に関する予習をしておきましょう。 ● 実技の説明に関しましては、集中して覚えるように努力をしてください。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	80	・実技試験を行い評価する。			
その他	20	・頭髪、白衣、実習靴、名札等の身だしなみを授業毎に確認する。 定期試験まで身だしなみの不良0回…20点、1回…15点、2回…10点、3回…5点、4回以上…0点 正当な理由がなく授業を欠席をした場合は、1回の身だしなみ不良とカウントする。 (欠席届を提出した場合は別)			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		触診の準備 手・指の当て方、注意点を理解しよう 身体の方角		/	太田
2		上肢の触診(骨) 中手骨、指骨		/	太田
3		上肢の触診(骨) 橈骨、尺骨		/	太田
4		上肢の触診(骨) 上腕骨		/	太田
5		上肢の触診(骨) 手根骨		/	太田
6		上肢の触診(骨) まとめ		/	太田
7		下肢の触診(骨) 中足骨、趾骨		/	太田
8		下肢の触診(骨) 脛骨、腓骨		/	太田
9		下肢の触診(骨) 大腿骨、膝蓋骨		/	太田
10		下肢の触診(骨) 足根骨		/	太田

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		下肢の触診(骨) まとめ		/	太田
12		上肢帯の触診(骨) 肩甲骨		/	太田
13		上肢帯の触診(骨) 鎖骨 胸骨		/	太田
14		下肢帯の触診(骨) 骨盤		/	太田
15		体幹の触診(骨) 棘突起		/	太田
16		骨触診まとめ 関節の可動域を測定してみよう！		/	太田
17		下肢の触診(筋) 足部～下腿①		/	太田
18		実技試験について		/	太田
19		前期定期試験		/	太田
20		下肢の触診(筋) 足部～下腿②		/	太田

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		下肢の触診(筋) 足部～下腿③		/	太田
22		下肢の触診(筋) 大腿部①		/	太田
23		下肢の触診(筋) 大腿部②		/	太田
24		上肢の触診(筋) 手～前腕①		/	太田
25		上肢の触診(筋) 手～前腕②		/	太田
26		上肢の触診(筋) 手～前腕③		/	太田
27		上肢の触診(筋) 手～前腕④		/	太田
28		上肢の触診(筋) 上腕部①		/	太田
29		上肢の触診(筋) 上腕部②		/	太田
30		頸部の触診(筋)		/	太田

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
31		感覚神経支配領域の確認 上肢		/	太田
32		感覚神経支配領域の確認 下肢		/	太田
33		打腱器をつかってみよう。①		/	太田
34		打腱器をつかってみよう。②		/	太田
35		MMT・周径を計ってみよう。①		/	太田
36		まとめ 後期試験について		/	太田
37		後期定期試験		/	太田
38		MMT・周径を計ってみよう。②		/	太田
39		動脈の拍動を触知してみよう。 血圧測定をしてみよう。		/	太田
40		まとめ		/	太田

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
41		応用的固定法1		/	南沢
42		応用的固定法2		/	南沢
43		応用的固定法3		/	南沢
44		応用的固定法4		/	南沢
45		応用的固定法5		/	南沢
				/	
				/	
				/	
				/	
				/	